交配相談サービス実施レポート

釧路市：有限会社仁成ファーム
～メガファームにおける交配相談の活用法～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、1頭の雌牛に対して改良目標に沿った種雄牛が３頭推奨されることが特徴です。

今回は、釧路市の（有）仁成ファームで授精を担当している菊地智和取締役に、交配相談を始めるきっかけと交配相談を利用してどんな牛づくりを目指すのかを伺いましたので、ご紹介いたします。

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、東北海道の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心的な機能を担っております。

（釧路市HP参照：http://www.city.kushiro.hokkaido.jp）





1. 有限会社仁成ファームの概況について教えて下さい。

3戸の酪農家が集まり設立され、現在は搾乳牛360頭で3回搾乳を実施しています。平成23年度の出荷乳量は3,759.6tでした。さらに、同じ釧路市で経営している第2牧場のウィングフィールドでは、搾乳牛400頭で3回搾乳を実施しており、平成23年度の出荷乳量は4,350.9tでした。2つの牧場の出荷乳量の合計は8,110.5tで、釧路管内で最も多くの生乳を出荷する牧場です。

仁成ファームHP参照：http://jinsei-farm.com/

2. 授精はどのように実施されているのですか？

自家授精で、私が2つの牧場を掛け持ちして授精を実施しています。1日あたりの授精頭数は、多い時で30頭以上になります。

3. どのようなきっかけで交配相談サービスを始められたのですか？

2010年にジェネティクス北海道道東事業所の精液販売担当者から紹介されたことがきっかけで始めました。一度に授精する頭数が多いので、交配相談を始める前は1頭ごとに繁殖台帳で血統を確認して授精に供する種雄牛を決めることが容易ではありませんでした。更には授精する雌牛に血縁が近い種雄牛を授精してしまうことも度々ありましたが、このサービスでは交配相談の結果表に血縁と改良目標を考慮した推奨種雄牛が表示されるため、以前よりも手際よく交配種雄牛を決められるようになりました。

4. 交配相談でどんな改良目標を設定していますか？

第1形質を**肢蹄**、第2形質を**乳器**に設定しています。当牧場では、肢蹄の故障が原因で淘汰せざるを得ない状況が続いているので、飼養管理と遺伝的改良の2方向で改善していくために肢蹄を第1形質に設定しています。そして乳器を第2形質にして、作業効率の高い乳器を持つ牛群を目指しています。ミルカーを装着しやすいことが、作業効率の高い乳器だと思いますので、乳器の形質のなかでも後乳頭の配置を重視しています。後乳頭の配置が内付きの乳器は、ライナースリップを起こし、それが起因して乳房炎になりやすくなり、作業効率が低下する一因となります。今後の牛群改良の方向性は、長命連産性に耐えることができる肢蹄と乳器を持ち、乳脂率の高い牛群に改良できたら良いと思います。

5. 交配相談サービスに一言お願いします。

交配相談の結果表を携行して授精をするため、いつも出力しているA3判の他に、A4判を出力して頂きたいと思います。

当団では、交配相談の結果表はA4判とA3判の2種類をご用意しております。どちらにも**推奨種雄牛**、**本牛の近交係数**、**第1形質**と**第2形質**の育種価が掲載されており、A3判はサイズが大きいため1枚に表示できる頭数が多いということが長所です。しかし、結果表を携行して利用するならば、ファイルに綴じられるA4判をお薦めいたします。

交配相談は雌牛ごとに近交係数と改良目標を考慮した推奨種雄牛が分かるため、授精がスムーズに進むというメリットがあります。特に授精頭数が多いメガファームでは、そのメリットを大いに活用していただきたいと考えます。

交配相談による牛づくりの成果が表れるには長い時間を要するため継続することが大変重要です。これからも交配相談を通して改良のお手伝いをさせていただきたいと思います。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた有限会社　仁成ファームの菊地取締役に感謝いたします。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えております。

（改良情報課　大林敏朗）



【60頭のロータリーパーラー】

